

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)

【公開番号】特開 2019-187579 (P2019-187579A)

【公開日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-044

【出願番号】特願 2018-81086 (P2018-81086)

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/06 (2006.01)

A 4 7 L 9/04 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/06 Z

A 4 7 L 9/04 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 22 日 (2021.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下面に吸込口を有するケース体と、吸引力を発生する掃除機本体に連通し塵埃を吸い込む吸込口と、前記吸込口の前後にそれぞれ前記ケース体に対し回動可能に配置された前方フラップと後方フラップとを備え、

前記前方フラップと前記後方フラップは、ケース体の前進時と後進時に床面と接触して回動する接触回動部と、吸込口に対し移動方向前側に位置する時に前記被掃除面との間に開口を形成し、移動方向後側に位置する時に前記開口を閉じるフラップ部とを備え、前記フラップ部は、前記開口を閉じた時に、被掃除面に対し傾斜状に倒れた状態であるとともに、最下部が前記被掃除面と接触するかその近傍に位置し、

前記前方フラップは前記後方フラップより断面の面積が大きいことを特徴とする電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【請求項 2】

前記フラップ部は、前記フラップ部が開いた時に前記被掃除面の間に形成する開口を部分的に閉じる少なくとも一つ以上の凸部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【請求項 3】

前記凸部は、下部に被掃除面に対して略平行な面を有していることを特徴とする請求項 2 に記載の電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【請求項 4】

前記凸部は、前記ケース体の進行方向と平行方向に凹凸形状または傾斜形状を備えていることを特徴とする請求項 2 に記載の電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【請求項 5】

前記可動フラップは、前記ケース体に対して固定され回動中心となる樹脂や金属の硬質部材で形成される軸と、軟質部材で形成されることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れか 1 項に記載の電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【請求項 6】

前記可動フラップは、前記ケース体に対して固定され回動中心となる樹脂や金属の硬質部材で形成される軸とを一体化して形成される前記フラップ部と、軟質部材で形成される前記接触回動部にて構成されることを特徴とする請求項 1 乃至請求項5の何れか 1 項に記載の電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【請求項 7】

前記フラップ部は、先端に刷毛部材または軟質部材が設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項6の何れか 1 項に記載の電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【請求項 8】

前記可動フラップ部の少なくともいずれか一方には、前記可動フラップの開方向、または閉方向に時前記可動フラップを付勢する手段を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項7の何れか1項に記載の電気掃除機の吸口体およびこれを備えた電気掃除機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

下面に吸込口を有するケース体と、吸引力を発生する掃除機本体に連通し塵埃を吸い込む吸込口と、前記吸込口の前後にそれぞれ前記ケース体に対し回動可能に配置された前方フラップと後方フラップとを備え、前記前方フラップと前記後方フラップは、ケース体の前進時と後進時に床面と接触して回動する接触回動部と、吸込口に対し移動方向前側に位置する時に前記被掃除面との間に開口を形成し、移動方向後側に位置する時に前記開口を閉じるフラップ部とを備え、前記フラップ部は、前記開口を閉じた時に、被掃除面に対し傾斜状に倒れた状態であるとともに、最下部が前記被掃除面と接触するかその近傍に位置し、前記前方フラップは前記後方フラップより断面の面積が大きいことを特徴とする。